

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	4-2-2		事業名	太陽光発電等設置モデル事業			
担当	環境局環境都市推進部エネルギー対策課 宮嶋 211-2872						
全体計画							
事業内容	地球温暖化防止のため新エネルギーの導入促進を図る目的で、市有施設へ太陽光発電設備の導入を行う。(3施設)		<年度別の事業内容>				
			・平成19年度;前田中央小学校(太陽光5kW) ・平成20年度;北郷小学校(太陽光10kW) ・平成21年度;南区内小学校(太陽光10kW)、場所未定)				
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	前田中央小学校(手稲区)に太陽光発電設備5kWを設置した。1階ホールに発電量、CO2排出削減量などがわかる液晶表示装置を設置し、児童が太陽光発電の効果等を学習できるようにした。			北郷小学校(白石区)に太陽光発電設備10kWを設置する。19年度同様、学習するための液晶表示装置を設置する。また、児童配布用に地球環境・太陽光発電普及啓発用パンフレットを作成する。			
達成目標の状況							
項目		18年度末(現状)	19年度末(実績)	20年度末(予定)	21年度末(予定)	22年度末(予定)	22年度末(目標)
学校への新エネルギー設備導入件数(累計)		7件	8件	9件	10件	/	10件
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
市民との連携、市民参加 企業等との連携・協働 [資金協力] - [人材協力] - [情報協力] - [その他の協力] - 市民・企業等が参加しやすい環境づくり							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	4-2-2		事業名	太陽光発電等設置モデル事業			
評価(成果)			課題				
計画どおり太陽光発電設備の設置は進んでいる。太陽光発電設備を設置した学校では、省エネ等のエネルギー学習に取り組むなど、児童への啓発も進んでいる。			積雪考慮分や、既存建物改修が必要など、他地域に比して設置コストが多くなるため、予算の確保が課題。(現在、NEDOの補助公募制度、工事費1/2負担、ただし上限額300万円)を活用しているが、年々補助金額が下がっている。また、新規性や低コスト化を求められ、採択が難しい状況にある。				
今後の事業の予定・方向							
平成19年度までに8区の小学校に太陽光発電設備の設置を行ってきており、残り2区(白石区、南区)の小学校に同規模設備の設置を進め、普及促進をしていきたい。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	17,565	16,500	17,935	0	52,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	7,660	7,660	7,660	0	22,980
一般財源	9,905	8,840	10,275	0	29,020		
予算	事業費	17,565	17,556	-	-	35,121	
	財源内訳	国・道支出金	0	7,600			7,600
		市債	0	0			0
		その他	7,660	1,000			8,660
一般財源	9,905	8,956			18,861		
実績	事業費	10,268	-	-	-	10,268	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	3,775				3,775
一般財源	6,493				6,493		
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				53.5%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度] その他財源見込み補助が得られなかったため、設備規模を縮小した							
[20年度]							